

平成23年度 保健学研究科市民講座を開催しました。(10月8日、9日)

保健学研究科においては、毎年「最新の研究から家庭の保健・医療へ」と題し、市民の方々に理解を深めていただけるよう、タイムリーな話題を提供しています。本年3月には東日本大震災が起り、甚大な被害が発生しました。関西地区には直接の被害はなかったものの、いつ発生するかわからない災害の備えに役立てればと今回は「防災」をサブテーマとして企画いたしました。10月8日(土)、9日(日)の2日間にわたり4名の教員を講師として開催いたしました。熱心な受講者が多数参加され、講義が終わった後には講師に質問される方も見受けられました。

8日



開講の挨拶
広報・図書委員長 松尾 博哉 教授



「災害と健康問題」
中園 直樹 教授



「災害時の健康管理」
小寺 さやか 講師

9日



「放射線が人体に及ぼす影響」
後神 秀基 助教



「災害とこころの健康」
橋本 健志 教授



熱心に聞き入る受講者の方々